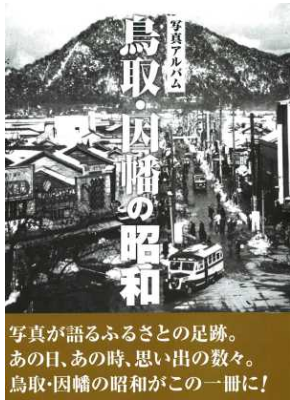




クリニックだより



写真が語るふるさとの足跡。
あの日、あの時、思い出の数々。
鳥取・因幡の昭和がこの一冊に!

診察の順番を待たれる患者さんに読んで頂こうと、「鳥取・因幡の昭和」という写真アルバムを購入しました。浜村駅、宝木駅、浜村海水浴場、船磯海岸、魚見台などの懐かしい写真が掲載されています。懐かしいと言いつつ、宝木駅も建物自体は建て替えられておりません。むしろ「こんな前からある建物がいまだに健在なのだ」と感心してしまいます。待合室の本棚に置いてありますので、ご覧頂ければ幸いです。

院長より

今年の夏も2年前の夏と同様、暑かったですね。ようやく過ぎやすくなり、野外活動の機会が増えると思います。注意して頂きたいのが「蜂刺され」です。今年は「蜂刺され」が去年より多いようです。8月がピークですが、9月頃までは注意しましょう。



- 医療理念**
- ① 私たちは、患者さんと信頼関係を築き、温かい医療を提供し、健康の喜びを共有します。
 - ② 私たちは、地域住民が安心して暮らせるよう、社会資源と連携し、当院の役割を果たします。

特集 ～ジェネリック医薬品（後発医薬品）について～

●ジェネリック医薬品をご存じですか？

ジェネリック医薬品という言葉が聞かれたことがありますか。最近テレビCMが流れますし、対象者には鳥取市からジェネリック医薬品への変更を勧める案内が郵送されていますので、ご存じの方も多いと思います。しかし、「なぜジェネリック医薬品への変更を勧めるのか」「先発医薬品と全く同じなのか」という説明は、残念ながら不十分と言わざるを得ません。本特集では、そのあたりを解説します。

国は医療費を下げるために、少しでも安い薬を使うことを推奨しています。私も医療資源を有効活用するためには、後発医薬品の使用は、必要と考えております。また、患者さん自身の自己負担も軽減されます（どの程度軽減されるかは薬によって異なります）。当院では、高血圧症、高コレステロール血症、糖尿病、便秘症、慢性胃炎、逆流性食道炎などの、主に慢性疾患でジェネリック医薬品を使用しています。

●ジェネリック医薬品はなぜ安い？

医薬品は、開発されてからの一定期間は、開発した製薬会社が独占的に薬を販売することが出来ます。最初に開発したメーカーの薬を先発医薬品と呼びます。これに対し、特許期間が過ぎてから、開発したメーカーとは別の会社によって作られた薬をジェネリック医薬品と呼びます。ジェネリック医薬品は、研究開発費が抑えられるため、先発医薬品と比較して価格が安くなります。

●先発医薬品と全く同じ？

ジェネリック医薬品の有効成分は先発医薬品と同じですが、それ以外の添加物が異なる場合があります。そのため、先発医薬品では現れなかったアレルギーが起こったり、体内で成分が溶ける時間が変わり、効き方が先発品と違うように感じられたりすることがあります。実際に先日経験しましたが、患者さんの希望で、ある高血圧の薬を先発品から後発品に変えたところ、全身の皮膚が痒くなり、後発品から先発品に戻したところ、痒みが消えたという例がありました。医薬品が他の製品と本質的に異なるのは、自分の健康と直結しているという点です。すなわち、安全性と効果が、値段やブランドより優先されるということです。

また、同じ成分の薬でも、メーカーが違えば、製造する工場が違い、安定供給の確実性も異なってきます。これにつきましては、コーヒーやカップ麺などの食料品、テレビや洗濯機などの電化製品でも、メーカーによってブランドイメージ、性能、価格、供給体制が異なることと似ています。こちらは、イメージしやすいかと思います。

●ジェネリック医薬品を希望される場合

どの医薬品にもジェネリック医薬品があるわけではありませんが、現在服用している薬を、価格の安いジェネリック医薬品に変更されたい場合は、ご相談ください。特に問題ないと判断すれば、すぐに変更します。薬剤性の肝機能障害の既往がある場合や、アレルギー体質がある患者さんには慎重に対応します。結局は、個々（患者さん毎、疾患毎、薬毎）に判断するのが一番だからです。

鳥取市健康診断、各種がん検診のご案内

鳥取市健康診断、各種がん検診が始まっております。ご用命の方は、電話か窓口でお問い合わせください。

【健康診断】

- * 基本的な健診項目（全員）
 - ・問診（既往歴、服薬歴、喫煙歴など）
 - ・身体計測（身長、体重、腹囲）
 - ・血圧測定
 - ・医師の診察
 - ・検尿（尿糖、尿蛋白）
 - ・血液検査（コレステロール、中性脂肪、肝機能、血糖またはHbA1c、腎機能、尿酸値）
(今年から、腎機能と尿酸値が追加となりました。)

- * 詳細項目（医師が必要と判断した時のみ）
 - ・心電図、貧血検査

【がん検診】

- ・肺がん検診（胸部レントゲン検査、喀痰検査）
- ・胃がん検診（胃カメラ）
- ・大腸がん検診（便の潜血検査）
- ・肝炎ウイルス検査（B型、C型肝炎ウイルス検査）

注：鳥取市健康診断とがん検診は予約制です。



セミナー参加

8月4日に東京で「小児呼吸器疾患のトータルマネージメント」というセミナーがあり、参加しました。「小児軽症喘息の治療」と「小児の長引く咳の診断」が主な内容でした。

小児喘息も成人喘息と同様、吸入ステロイド薬が治療の中心になりつつあります。喘息治療薬の中では、吸入ステロイド薬が最も有効で、患者さんのQOLを速やかに改善するためです。これは日々の診療で実感していることです。

ただ、小児の場合、成人の治療より早めに薬を減らし、最終的には中止する方針で治療を進めます。特に初回治療では、ダラダラと治療を続けることはあまりありません。しかし、内服薬ではコントロールが難しい場合や、発作を繰り返す場合には、腰を据えて治療を行う必要があります。



山宮の大ダブノキと、そこから鷲峰山方向を撮影した写真です。残念ながら、この日は鷲峰山は見えませんでした。



よねだクリニック

0857-37-6123

http://www.yoneda-clinic.com

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
午後3:30~6:30	○	○	○	休	○	休

ご意見・ご要望などございましたら、お気軽に院長またはスタッフにお申しつけください。ホームページの「ご意見箱」もご利用下さい。